

最新最前線

新システム続々

システム開発のエルムデータ(札幌)は、生鮮食品などを運ぶトレーラーなどの保冷車がフェリーで海上輸送されている間も、温度変化や荷室の開閉状況などを把握できる「海陸一体低温物流送品質管理システム」を開発し、十一月から発売する。

同社は衛星利用測位システム(GPS)を利用したトラック向け品質管理システムを開発しているが、本州に生鮮品を送り出している荷主から海

フェリー輸送中も鮮度管理

■札幌・エルムデータ

上輸送中の鮮度管理の要望が多かったため新たに開発した。

フェリー内の無線LANを使って、各車に搭載した通信端末でデータを集め、衛星通信を利用し



海陸一体で温度管理などができるシステムの車載機

てフェリーからエルムデータの監視システムにデータを集約。利用者はパソコンからネットワーク経由で温度など荷物の状況を確認できる。苫小牧と大洗、東京、敦賀、小樽と敦賀の航路に就航している十四隻のフェリーで利用できる。

価格は車載機が三十万円程度、システム利用料が端末一台当たり月額五千円程度。船上では衛星通信の費用が別途かかる。荷主や運輸業者などを対象に年間五百台程度の利用を見込む。

問い合わせは同社 ☎ 0120・465・801 へ。